



世界の大学シリーズ(10)
カリフォルニア大学バークレイ校 (アメリカ合衆国)

緑に囲まれたキャンパスの中にあるドーム型の屋根の建物が、カリフォルニア大学バークレイ校のインターナショナル・ハウス（以下 I・ハウス）です。

写真は、一九九二年フルブライト国際教育交流職員プログラムに参加した時のものです。

一九三〇年八月にキャンパスの Fontana 通りに位置するように建てられました。これは、ハリール・エドモンズが提唱した「インターナショナル・ハウス運動」の一環を成すものとして、ニューヨークに次いで第二の I・ハウスとして「U・ロックフェラー」の寄附により建てられたものです。

六百人の学生用の宿泊施設ですが、外国人留学生とアメリカ人学生半々で、男女混住となっていて、訪問研究者用の宿泊施設もあります。

この施設は、大食堂、早朝から夜十二時まで利用できるカフェ、二十四時間利用できる図書室、四百九十名収容の講堂（ステージ、音響設備、映画スクリーン等を備えている）とランドリー、電気器具等がレンタルできるサービセンター及び事務室等で構成されています。

I・ハウスは、組織的には大学の一部でありながら、予算的には独立している非営利団体となっています。年間予算は約五百万ドルで、その八割は入館者の支払う館費、残り二割は I・ハウスの会員の支払う会費となっています。

I・ハウスは、単なる宿泊施設ではなく、異文化理解、友好親善の促進に寄与する年間約二〇〇ものプログラム（内七〇〇〜八〇〇は外国人留学生を対象としたもの）を提供しています。このプログラムには、入館者のみならず、バークレイ校の学生、教職員、訪問研究者及び他大学学生、さらには、地域住民も I・ハウスの会員になれば参加できるようになっています。

空港から I・ハウスまで相乗りした、I・ハウスの近所でアパートを経営しているというおばさんの次の言葉が強く印象に残っています。

「I・ハウスは、地域の誇りであり、シンボルです。」

学校教育学部庶務係 山下博司

(やました・ひろし)

無題 (B1)

近頃 自由について考える。
美術の教科書にこんな文があった。

「生まれたままの自然児が自由な人間なのではなく、ほんとうの感性や知性を努力の末に獲得した人間が、自由なのである。
— 佐藤忠良 (彫刻家) —

なるほどやなあ。

広島大学大学院学校教育研究科美術教育専攻 近藤和喜

